

令和2年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会

- 1 【報告】 令和元年度栄区セーフコミュニティ事業報告について—— 1 頁
- 2 【報告】 令和元年度栄区セーフコミュニティ分科会活動について
- | | | |
|-----------------|-------|------|
| (1) こども安全対策分科会 | _____ | 3 頁 |
| (2) スポーツ安全対策分科会 | _____ | 4 頁 |
| (3) 交通安全対策分科会 | _____ | 5 頁 |
| (4) 児童虐待予防対策分科会 | _____ | 6 頁 |
| (5) 高齢者安全対策分科会 | _____ | 7 頁 |
| (6) 災害安全対策分科会 | _____ | 8 頁 |
| (7) 自殺予防対策分科会 | _____ | 9 頁 |
| (8) 防犯対策分科会 | _____ | 10 頁 |
- 3 【議題】 令和2年度栄区セーフコミュニティ事業計画について — 11 頁

資料

- ・ 令和2年度 セーフコミュニティ推進協議会・各分科会委員名簿

■栄区セーフコミュニティ推進協議会 委員名簿

| No. | 役職 | 氏名 | 職位 |
|-----|-----|---------|--|
| 1 | 会長 | 富士田 学 | 栄区長 |
| 2 | 副会長 | 磯崎 保和 | 栄区連合町内会会長、豊田連合町内会自治会会長、 災害安全対策分科会座長 |
| 3 | 副会長 | 大河原 文勝 | 栄警察署長 |
| 4 | 副会長 | 渡辺 又介 | 栄消防署長 |
| 5 | | 持田 忠 | 笠間連合町内会自治会会長、防犯対策分科会座長 |
| 6 | | 田中 健次 | 小菅ヶ谷連合町内会自治会会長 |
| 7 | | 細田 利明 | 本郷中央連合町内会自治会会長 |
| 8 | | 山田 直樹 | 本郷第三連合町内会会長 |
| 9 | | 黒木 さち子 | 上郷西連合町会会長 |
| 10 | | 芦川 弘 | 上郷東連合町会会長 |
| 11 | | 日浦 美智江 | 栄区社会福祉協議会会長 |
| 12 | | 本田 桂子 | 栄区民生委員・児童委員協議会会長 |
| 13 | | 野村 武 | 栄区医師会会長 |
| 14 | | 細川 治 | 横浜栄共済病院院長 |
| 15 | | 二宮 三嘉 | 栄区薬剤師会会長 |
| 16 | | 大矢 享 | 栄歯科医師会会長 |
| 17 | | 片岡 喜久江 | こども安全対策分科会座長 |
| 18 | | 白川 正信 | スポーツ安全対策分科会座長 |
| 19 | | 森 克巳 | 交通安全対策分科会座長 |
| 20 | | 宮崎 良子 | 児童虐待予防対策分科会座長 |
| 21 | | 湯瀬 洋子 | 高齢者安全対策分科会座長 |
| 22 | | 小田原 俊成 | 自殺予防対策分科会座長 |
| 23 | | 田高 悦子 | 傷害サーベイランス分科会座長 |
| 24 | 参与 | 大桑 正貴 | 栄区議員団 |
| 25 | 参与 | 輿石 且子 | 栄区議員団 |
| 26 | 参与 | 長谷川 えつこ | 栄区議員団 |
| 27 | 参与 | 楠 梨恵子 | 栄区議員団 |

令和元年度栄区セーフコミュニティ事業報告について

1 概要

令和元年度の栄区セーフコミュニティ活動については以下の通り実施しました。

| 内容 | 時期 |
|---------------------------------------|-------|
| 推進協議会の開催 | 4月 |
| 傷害サーベイランス分科会の開催 | 8月・3月 |
| さかえセーフコミュニティフォーラムの開催（参加者 220名） | 10月 |
| 区民まつりでの啓発活動 | 11月 |
| 他認証都市での審査等参加（さいたま市、秩父市、十和田市、鹿児島市、厚木市） | 随時 |
| セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク研修・定例会への参加 | 7月・2月 |
| 各分科会の開催 | 随時 |

2 プロモーション

(1) 調査の結果認知度が低かった現役世代と居住歴の浅い層に訴求するための取組

- ア データで取組の効果をPRするポスターの作成・配布（公共施設、自治会・町内会掲示板等）
- イ 区役所戸籍課にて、栄区への転入者に対しリーフレットを配布
- ウ セーフコミュニティフォーラム及び区民まつりで小学生以下の子どもに風船を配布

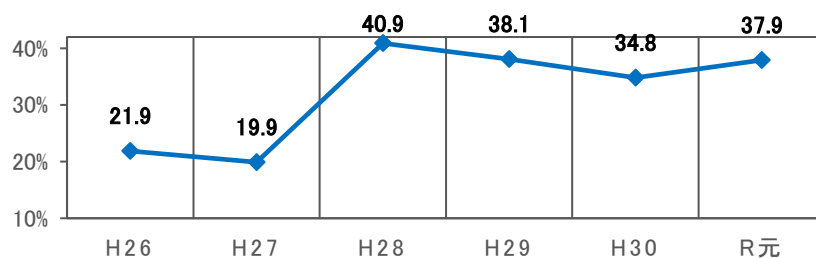
(2) 広く一般にPRするための取組

- ア 広報よこはま栄区版（コラム：隔月掲載 特集：9月号）
- イ 歩道橋横断幕掲出（笠間町歩道橋、中野町歩道橋）
- ウ 啓発品の作成・配布（クリアファイル、ポケットティッシュ、ボールペン等）

3 認知度について

11月に実施した区民意識調査において、セーフコミュニティの認知度は37.9%と前年度の34.8%から3.1ポイント上昇しました。

◆〈参考〉セーフコミュニティの認知度の推移



4 傷害サーベイランス分科会委員からの助言について

学識経験者等から構成される傷害サーベイランス分科会の委員より、活動に対し以下のような助言がありましたので報告します。(主なものを抜粋)

- ・活動の指標となるデータは、各分科会の取組を前向きに評価するものであることが望ましい。
例えば救急搬送件数は全体的に増加傾向にあることから、人口当たりの割合にする等見直しの余地がある。
- ・複数の分科会による連携した取組について、既存の活動の中で連携しやすいものから着手するという視点で検討すると良い。
- ・特殊詐欺被害の防止等において、一人暮らしで情報を得にくい住民がリスクにさらされる傾向がある。そういった方を守るには地域の小さな単位の集まりでの情報共有が有効である。

◆ 参考資料



ポスター



区民まつり



セーフコミュニティフォーラム

令和元年度栄区セーフコミュニティ分科会活動について

こども安全対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|-------------------|-------------------------|
| 1 | 養育者への啓発 | 乳幼児期の子どもの救急搬送件数の減少 |
| 2 | 子どもへの注意喚起（KYTの実施） | 学齢期の子どもの事故件数の減少 |
| 3 | 地域の住民による見守り | 「安全・安心な地域である」と感じる子どもの増加 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|---------|--|
| 第1回 | 9月18日開催 | 本年度の取組について、KYTミニ体験、意見交換 |
| 第2回 | 2月20日開催 | 本年度の取組報告、子どもの事故予防アンケート結果報告、次年度の取組について、意見交換 |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- ・養育者への啓発
保育施設・地域子育て支援拠点やこにちは赤ちゃん訪問において、事故予防クリアファイル等の配布。事故予防に関する養育者向けアンケートの実施
- ・子どもへの注意喚起
子ども会イベントやキッズクラブなどの放課後施設において、子どもたちへのKYT（危険予知トレーニング）の実施。区内保育園・幼稚園、放課後児童クラブにKYT教材を配付
- ・子どもの見守り
地域住民や分科会委員を中心とした、「こども110番の家」の普及や登下校の見守り活動の実施
小・中学生を対象に安全安心な地域づくりに関するアンケートの実施

スポーツ安全対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|------------|--------------------|
| 1 | けが予防講習会の開催 | 運動競技事故による救急搬送件数の減少 |
| 2 | ウォーキングの推進 | 運動競技事故による救急搬送件数の減少 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|---------|--|
| 第1回 | 6月27日開催 | 令和元年度の分科会活動について、講習会の開催について、啓発物品について |
| 第2回 | 3月5日開催 | 平成29年度実施アンケートの分析結果等について、分科会だよりの発行について、令和2年度の取組について |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- 分科会企画講習会としてウォーキング講座を実施しました。
実施日：令和元年10月14日（月・祝） 参加者数：65名
- 分科会企画講演会（テーマ：スポーツ中のけがや事故を防止するには）を開催しました。
実施日：令和2年2月15日（土） 参加者数：70名
- 各種スポーツイベントにて、準備運動の実施喚起を行いました。

交通安全対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|------------------|--|
| 1 | 各季および強化月間の交通安全運動 | ・年間を通じた効果的な交通安全啓発の実施 |
| 2 | スクールゾーン対策 | ・子どもの交通事故件数の減少 ・交通事故による子どもの死傷者数の減少 |
| 3 | 自転車ヘルメット着用啓発 | ・自転車事故による子どもの死傷者数の減少 ・子どもの交通事故件数の減少 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|----------|--|
| 第1回 | 4月18日開催 | ・第2回幹事会までの交通安全活動計画検討 ・区内の交通事故発生状況 ・平成30年度スクールゾーン対応状況の確認 |
| 第2回 | 9月4日開催 | ・第3回幹事会までの交通安全活動計画検討 ・区内発生の高齢運転者交通事故状況 ・令和元年度スクールゾーン対策協議会の内容紹介 |
| 第3回 | 11月14日開催 | ・第4回幹事会までの交通安全活動計画検討 ・区内の交通事故発生状況、 ・第1回セーフコミュニティ傷害サーベランス分科会の内容紹介 ・啓発物品購入計画 ・児童登下校時における見守り活動アンケート実施計画 ・自転車乗車時のヘルメット着用率アンケート結果紹介 |
| 第4回 | 2月7日開催 | ・翌年度4月までの交通安全活動計画検討 ・区内の交通事故発生状況 ・児童登下校時の見守り活動アンケート結果紹介 ・自転車乗車時のヘルメット着用率アンケート実施計画 ・区内小学校へ配布する自転車ヘルメット着用啓発チラシの内容 |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- ・各季における交通安全活動や強化月間における交通安全活動の実施
- ・区内全14小学校のスクールゾーン対策協議会との協議および警察署、土木事務所、区役所による交通環境の改善等実施
- ・幼児の自転車乗車時のヘルメット着用率調査（区内市立保育園にアンケート協力依頼）
- ・自転車乗車時のヘルメット着用啓発チラシ作成（区内全14小学校へ翌年4月に配布）
- ・児童登下校時の見守り活動ボランティアの状況調査

児童虐待予防対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|------------------|---|
| 1 | さかえっ子の笑顔ひろげ隊活動周知 | 子育て世帯と接するすべての方々が、養育者と子どもを温かく見守り、安心して子育てができる地域づくりを推進をする。 |
| 2 | 赤ちゃんふれあい体験 | 自主的に中学の課外活動として育児教室に参加することにより、家族・家庭の役割や自立的に生きる基礎を培う。 |
| 3 | いのちの授業 | 思春期の子どもたちが、胎児の成長、乳児とお母さんとの交流を通じ命の大切さ、他人を思いやる心などを育む。 |
| 4 | 専門家による早期対応 | 児童虐待による死亡事例・重篤事例の予防。児童虐待対応件数、要保護児童数の減少。 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|----------|-------------------------------------|
| 第1回 | 5月7日開催 | 令和元年度活動計画 |
| 第2回 | 7月23日開催 | 赤ちゃんふれあい体験活動計画検討、地域向け啓発活動検討 |
| 第3回 | 9月25日開催 | 赤ちゃんふれあい体験実施結果共有、区民祭りでの周知方法検討 |
| 第4回 | 11月29日開催 | 区民祭りでの啓発活動振り返り、いのちの授業活動計画検討 |
| 第5回 | 1月29日開催 | いのちの授業活動計画確認、中学校での赤ちゃんふれあい体験実施方法の検討 |

3 令和元年度の分科会による主な活動

事務局が担う、元々の活動や講座の場面、子育て関連イベントや区民まつり等、様々な機会を通じて児童虐待予防のための啓発活動を行った。
 また次世代を担う子どもたちの育成として、平成27年度から開催している「いのちの授業～赤ちゃんふれあい体験」を西本郷中学校と桂台中学校の2校の3年生を対象に実施する計画を立てた。（新型コロナの影響で実施は西本郷中のみ）

高齢者安全対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|------------|------------------------|
| 1 | 転倒予防に資する取組 | 高齢者の転倒・転落件数、割合の減少 |
| 2 | ヒートショック対策 | 高齢者の不慮の溺死及び溺水による死者数の減少 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 6月6日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組について ・転倒予防体操リーダー育成研修について（中間報告） ・分科会委員や各団体への実績報告依頼について |
| 第2回 | 10月18日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートショック対策の取組について ・転倒予防体操リーダー育成研修報告 ・SC高齢者安全対策分科会の指標の一部変更について |
| 第3回 | 2月18日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動振り返り及び来年度の取組について ・区民まつりアンケート結果の報告及び分析 ・活動実績（指標）確認 |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- ・転倒予防の普及啓発を、元気づくりステーションや地域の自主活動の中で実施した。
- ・転倒予防体操を身近な場で普及していくため、区内ケアプラザ（6か所）にて、転倒予防体操リーダー向け講座を開催、さらにその参加者のうち、希望者に対しフォローアップ研修を実施した。
- ・転倒予防のための住環境改善啓発チラシを一部改訂・デザイン変更を行い、より幅広い対象に配布した。
- ・ヒートショック対策の普及啓発を、地域のイベントや区民まつりで行ったほか、地域サロンや個別訪問で実施した。
- ・ヒートショック啓発のため、ポスターを新たに作成し、自治会・町内会掲示板等に掲示を依頼した。また、栄区ツイッターを使用しヒートショック対策を啓発した。

災害安全対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|----------------|--|
| 1 | 自助の取組の促進 | 地震災害による死傷者数の抑止 |
| 2 | 実践的、機能的な避難所の追及 | 避難者が避難生活をストレスなく送るための避難所運営の実施 災害関連死者数の抑止 |
| 3 | 災害時要援護者支援の取組拡大 | 支援の方法・支援者の啓発 災害関連死者数の抑止 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|---------|---|
| 第1回 | 5月17日開催 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 地域防災拠点訓練実施状況について 分科会からの提案について (1) 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報の推奨について (2) 5か年計画で行う訓練項目の策定について (3) 災害時要援護者を考慮した体育館以外の空き教室の活用について |
| 第2回 | 12月6日開催 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度上半期 地域防災拠点訓練実施状況について トイレパックの配布について 家具転倒防止の啓発について 地域防災拠点の看板設置について |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- 自助の取組の促進
 - ・不特定多数の対象に家具転倒防止の啓発を行った。
 - ・出前講座を行い、災害に対する備えの啓発を行った。
- 実践的、機能的な避難所の追及
 - ・地域防災拠点における避難者カードを使用した避難者受付訓練の実施と、トイレパック使用の啓発を兼ねた訓練の実施を促進した。
 - ・各拠点や学校長に対して、発災時に利用できる空き教室3部屋以上確保するように協力依頼をした。
- 災害時要援護者支援の取組拡大
 - ・講演会、出前講座の実施や、申請のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、災害時要援護者支援の取組を推進した。

自殺予防対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|------------|----------------|
| 1 | 啓発活動の展開 | 自殺者数、自殺死亡率の抑制 |
| 2 | ハートフルサポーター | 支援機関へつながる件数の増加 |
| 3 | リスク者への支援強化 | 自殺者数、自殺死亡率の抑制 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|----------------------------|--|
| 第1回 | 9月10日開催 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度自殺予防対策の取組について報告 令和元年度自殺予防対策の取組について 今後の取組の進め方について ゲートキーパー養成研修資料説明後、意見交換 |
| 第2回 | 3月19日開催 (感染拡大防止のため書面開催) | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の自殺予防の取組について報告 令和2年度の自殺予防対策に関する取組スケジュール(案) 横浜市の自殺対策計画の取組について |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- 自殺予防啓発
 - ・図書館企画展を実施(9月)
アルツハイマー、がん、結核等、要因の上位となっている「健康」に関するテーマとあわせて実施
 - ・イベント等での啓発
委員の協力を得て、本郷台駅前祭り、いたちまつり、区民まつりの健康づくり月間ブースで啓発
 - ・自殺対策強化月間(3月)に予定していました駅前キャンペーンは感染症拡大防止のため中止
- 講演会、研修、ネットワーク
 - ・区民対象にメンタルヘルス講演会の開催(3/2)を予定していましたが、感染症拡大防止のため中止
「ストレス時代のこころと体の健康づくり ～ストレス一日決算主義のすすめ～」
山本 晴義先生(横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長)
 - ・ハートフルサポーター育成研修を、区転入、新任職員及び昨年度一斉改選した保健活動推進員全員を対象に研修会を開催
 - ・生活困窮者に関するネットワーク会議、警察・消防・病院との連携会議の開催
- リスク者対応
 - ・昨年度まで開催していたメンタルヘルス従事者専門研修及びメンタルヘルス支援ネットワークを見直し、新たな形でメンタルヘルス支援ネットワークを開催
 - ・リスク者向けリーフレットとパンフレット、カードの配付

防犯対策分科会

1 分科会の取組内容

| | 取組 | 目的 |
|---|-------------------|---------------------|
| 1 | 振り込め詐欺の被害者層への啓発実施 | 振り込め詐欺の認知件数、被害金額の減少 |

2 令和元年度の分科会開催状況

| | 日程 | 内容 |
|-----|---------|--|
| 第1回 | 8月6日開催 | ・広報よこはま栄区版10月号特集について ・区民まつりにおける防犯コーナーについて ・振り込め詐欺に関するアンケート結果 ・合同パトロールについて |
| 第2回 | 2月21日開催 | ・各団体における取組みの報告 ・振り込め詐欺に関するアンケートの実施について |

3 令和元年度の分科会による主な活動

- ・栄区民まつりにおける防犯ブースの設置、啓発の実施
- ・地域と区役所が連携した防犯パトロールの実施
- ・広報よこはま栄区版に振り込め詐欺対策について掲載
- ・ポップアップシール、簡易型自動録音機等のグッズ作成、啓発の実施

令和2年度栄区セーフコミュニティ事業計画について

1 令和2年度事業計画

令和2年度については以下のように計画していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止等の事由から、実施時期や内容をやむを得ず変更する場合があります。

(1) 概要

| 時期 | 内容 | 備考 |
|------------|-----------------------------------|--|
| 5月 | 栄区セーフコミュニティ推進協議会 | 書面での開催 |
| 年2回 | 傷害サーベイランス分科会 | 学識経験者を中心とした委員による活動への助言等 |
| 11月 | セーフコミュニティアンケート | 対象者：栄区在住の20歳以上の男女1,500人 (住民基本台帳から無作為抽出) 形式：郵送調査 内容：活動の基礎となるデータや認知度等 |
| 開催時期検討中 | さかえセーフコミュニティフォーラム | 内容：有識者による講演等 会場：栄公会堂（たっちーらんど） ※下記アを参照 |
| 年間を通じて行う取組 | 各分野別分科会の活動 | - |
| | 指標の見直し | ※下記イ・ウを参照 |
| | 分科会同士の連携した取組の検討 | |
| | セーフコミュニティ推進自治体ネットワークにおける他認証都市との交流 | 令和2年度の審査等の予定 現地審査：秩父市(埼玉県)、鹿児島市、厚木市 事前指導：泉大津市(大阪府) |

ア さかえセーフコミュニティフォーラムの開催時期について

セーフコミュニティ推進月間である10月の開催を計画していましたが、今後の新型コロナウイルス感染拡大の動向が不明瞭であるため、準備・広報期間等も考慮し、冬期の開催を検討しています。実施時期・内容等が決定次第、改めてお知らせします。

イ 指標の見直し

活動の効果をより正しく把握するため、必要に応じて該当する分科会事務局及び区政推進課を中心に見直しを検討します。

ウ 分科会同士の連携した取組の検討・開始

前回（平成30年）の現地審査における、審査員からの指摘事項に基づき、対象者が重複している分科会等について、複数の分科会が連携した取組を検討・開始します。

裏面あり

(2) プロモーション

PR動画の制作や、啓発グッズの作成等を予定しています。また、例年実施している区民まつりでのブース出展や区の媒体を活用したPRについても継続します。広報よこはま（栄区版）では、コラム（隔月掲載）や特集（10月号予定）を通じ区民がセーフコミュニティを身近な自分の暮らしに繋がるものとして捉えることができるよう、記事の作成に工夫をしていきます。

また、自治会・町内会等関係団体への啓発品を活用した広報協力依頼も検討しながら、あらゆる機会を通じてPRを行い認知度の向上に取り組みます。

2 今後について

次回現地審査を想定し、概ね以下のように計画しています。

| | 実施予定 |
|-----------|------------------------------|
| 令和2年度 | 指標の見直し 分科会同士の連携した取組の検討・開始 |
| 令和3年度(予定) | 事前指導準備（資料作成等） |
| 令和4年度(予定) | 事前指導、認証取得のための申請書作成 |
| 令和5年度(予定) | 現地審査、認証式典 |